

平成 20 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦  
(コード番号：4321 東証一部)  
問い合わせ先 取締役経営企画部長 吉川 泰司  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

平成 20 年 12 月 11 日付当社プレスリリースの補足情報について

当社は、平成 20 年 12 月 11 日付で「平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正、特別損失の計上、配当予想の修正、並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」と題するプレスリリースを発表いたしました。が、当該プレスリリースの記載内容に関し、本日までの進捗状況についてお知らせします。

記

1. シニアヘルスケア物件への借入金の長期化

本年 12 月に期限が到来する予定であったシニアヘルスケア物件への短期借入金約 30 億円について、本年 12 月 18 日付で三井住友銀行からの長期借入金（期間 3 年）へ転換を実行いたしました。

2. バランスシートの圧縮

これまで連結対象としていた企業年金向けファンド 9 号及び 10 号に関し、匿名組合出資の当社持分を本年 12 月 19 日付で第三者に譲渡した結果、868 億円のたな卸資産と 638 億円の有利子負債が連結バランスシートから削減されることとなりました。

他の物件売却等の進展とあわせ、本年 9 月末に当社の連結バランスシートに計上されておりましたたな卸資産の圧縮額は約 1,100 億円となる見込みです。

3. 当社が保有する大型物件を投資対象としたブリッジファンドの組成

当社では、本年 5 月に竣工した東京都江東区的大型オフィスビル（「KDX 豊洲グランスクエア」。以下、本物件）を自己勘定にて保有しておりましたが、本物件の売却見通しが来期にずれ込んだことを受け、本年 12 月末を期限とした本物件に対する既存借入のリファイナンスが必要となりました。

そうした中、今般、日本政策投資銀行に当該リファイナンスのアレンジをいただき、主力銀行である三井住友銀行の参加も得て、本年 12 月 26 日付でブリッジファンドを組成することといたしました。尚、劣後エクイティを当社が拠出することから、当該ブリッジファンド（SPC）は当社の連結子会社となります。当該ブリッジファンドの組成により、運用期間 2 年の安定的な資金を確保する一方で、本物件の売却については引き続き早期に実現していく方針です。

■ ブリッジファンドの概要

- (1) ノリコスローン・レンダー 日本政策投資銀行、三井住友銀行、他 1 社
- (2) エクイティ投資家 当社及び国内機関投資家 2 社
- (3) 運用期間 2 年
- (4) 投資対象 KDX 豊洲グランスクエア

4. 当社が保有する大型物件の売却交渉状況

上記の通り、KDX 豊洲グランスクエアに関しては、ブリッジファンドの組成により安定的な運用体制を確保いたしました。一方で、当初、本年 12 月末を目標に進めてまいりました海外投資家との売却交渉に関しましては、当該海外投資家と来年以降も交渉を継続していくことで合意しており、引き続き早期売却に向けた取組みを継続してまいります。

以上